

# Outline

## Introduction to Media Studies

- アナウンス
- 30分英語訓練（今日はグループ2）
- グループ2以外、グループ活動1: 語学学習でも使えそうな、面白動画（できればメディア学に近いもの）、テーマ、関心を見つけグループで共有（記録）
- イントロの書き方、プレゼンテーションの目的/最終やってほしいことの説明
- グループ活動2: 説明を受けて、プレゼン準備（記録）

I'll use English based on these slides in Japanese so, please follow a slide if you don't understand.

リフレクシヨソ

締め切り 10月31日

**別の課題: 締め切りは10月26日**

**夏休みの課題提出準備**

# コロナ対応に関して（教務から先生への説明）

- 登校禁止の対象は変更: 学生・教員双方「陽性者」と「濃厚接触者」のみ（マスクなしの接触など）
- 学生は大学の指定する「登校禁止の報告フォーム（A）」を入力することになっている
- 学生の登校禁止期間の確認: 先生は「教員閲覧用スプレッドシート」にて確認する。
- 学生にも教員にも解除確認通知は行かない
- 保健管理センターとの連絡がなくなる

# コロナ対応に関して（先生からのお願い）

- 欠席の理由は報告しなくても構わないとしたものの、コロナに関しては連絡してもらおうと助かる（スプレッドシートで確認後、成績等の配慮が可能になる）
- 万が一クラスの大半が濃厚接触者となった場合に休講など（多分ほぼない）の検討しやすくなるので、できる限り大学指定のフォームに入力の上、先生に連絡

# 個人期末課題

## 選択肢

- レポート (普通の。春学期の研究計画に基づいて。変更は可)
- レポートの代わりにメディア・コンテンツ (これは別途、google フォームで企画書を記入してもらう)
- 上記のフォームへのリンク (10/31公開)、提出締め切り11月15日 (予定)

# レポートの準備はもう始める

## レポートに関して

- 自分の選択したテーマに関して、何が言われているのか、概論書、解説動画などを探して全体像をつかむ
- その後、テーマに関して何が問題となりえるのかを理解し、どのような新しい知見を「自分が」提供できるかを考える
- イントロを書く準備をする（今日説明する）

# レポートの準備はもう始める

レポートに関して

- あなた自身が、自分が決めたテーマの専門家になる
- そのために決めたテーマに関して全体像をつかむ
- 全体像を掴む一番早い方法: 学術系の場合は概論書、解説書、教科書。
- 全体像を掴む一番早い方法: 今起きていること、流行りなどを扱う場合は、テーマに関する解説書・解説動画、その道の専門家や勉強してきた人の記事
- イントロは、ここで勉強した内容を簡潔にまとめた上で、自分の書くレポートの意義、メインポイントを書く（詳細は追って説明）

30分の英語訓練

その間、他グループはグループ活動1

# 基本の形式

大体これを元に進める

- 最初の5分から10分程度、1週間勉強何をしたかの簡単な会話。
- 5分から10分程度、英語科目や語学科目等の宿題の手伝い、語学学習に関して疑問に思ってることなどへのアドバイス
- 残りの時間：グループのレベルに応じて、英語にてきめられたテーマに関して、何か発言する方法を訓練 または、フリートークを通して反応する訓練を学ぶ。沈黙はなし。日本語でも片言でもいいから反応する
- 単語が出てこなかったら、先生に聞く。先生もわからなかったら、スマホを活用。間違い等は気にしない（会話の中で先生がさりげなく修正していく）

# グループ活動1

# グループ活動1

- 学習していく際に、好きなこと、興味があること、関心があること、で勉強していくといい（英語学習用に、興味、関心、好きなことをグループで共有する）
- テーマの例: 陰謀論でもいい、漫画、アニメ、ゲーム、ドラマ・映画、スポーツ、ファッション、恋愛、なんでもいい（可能ならメディア学、制作・開発関係がいいけれど）
- テーマが決まったら、英語学習に使えるもので、それに関連した動画や記事資料をグループで探す
- 動画/記事: 短めのがいい。記事は1ページ、2～5段落程度。5分から10分（耐えられるなら長くていい）、動画は可能なら字幕機能があるコンテンツ。双方、見られるコンテンツ

個人課題:

イントロダクション

# 大学の教科書的説明

- なぜそのテーマを選択したのか、なぜに答えるセクション。アカデミックな場合は、研究方法の説明、枠組み、テーマへのアプローチを書く
- 現状の知見に不足している部分を指摘、後半な研究領域（あるいはテーマの中で、自分が注目した部分がどこか宣言するセクション）
- 背景情報の説明、文脈の設定。
- 設定したテーマ、リサーチクエスチョン（何が問題か、何がわかっていないか、疑問点、批判、抜けている点、何がこれまでなされていないか）の提示、
- その上で、可能なら解決策やリサーチクエスチョンへの回答を簡潔に提示

# もっと大雑把な説明

- 読んでくれとアピールするための場所。背景を説明。なぜあなたが選んだテーマを読み手は手にとって読まなきゃいけないのか、あるいは読むべきなのか説得する（あるいは、そのテーマについて知識を得たい人が、なぜあなたから知識を得るべきかPRするセクション）
- 足りない知識や自分の調べたことの範囲を提示
- 背景情報の説明、文脈の設定。
- 設定したテーマ、リサーチクエスチョン（何が問題か、何がわかっていないか、疑問点、批判、抜けている点、何がこれまでなされていないか）の提示、
- リサーチクエスチョンがあるなら、それへの回答や解決策、それ以外は重要度のアピールや、興味がある人に読んでもらえるように内容の説明をする

# 大学のレポート役に立たたねえって人散々見てきたけど

- ビジネスでのレポート、お金持ちのおじさん・おばさんや団体からの補助金獲得・資金・外部助成金などの予算獲得するために役に立ったスキル（先生は一応、6年間で外部資金をこれまでに8つ獲得できた。クラウドファンディングなどでも役に立つ）
- コミュニケーション下手でも文章でのPRなどフォーマルな場でのアピールに応用できるスキル（少なくとも先生はそう思った）
- 言語関係なく、世界中の学界・フォーマルな場の表現や報告で応用できた。
- PRする際、何も知らない状態で物事を言うと中身スカスカな印象を与えたり、表面だけで終わる可能性があるけれど、調べて情報を集めて概論を知る作業をしたあとだと、少なくとも厚みのあるアイディアがでる。
- 情報を吟味する際の判断基準ができ、イントロを読んで自分の判断基準で時間をかけて読むか読まないか素早く判断できるように（自分のバイアスを理解した上で、可能な範囲で客観的に判断するための基準ができる）

# プレゼンテーションの目的

# 大学の教科書的説明

- なぜそのテーマを選択したのか、なぜに答えるセクション。  
アカデミックな場合は、研究方法の説明、枠組み、結果、わかったこと、現状の知見に不足している部分を説明することが目的
- 知見の共有、追加、修正、その重要性を提示。
- アカデミックでは必須ではないものの、聴いている人に行動してもらおう（例: 問題意識を持ってもらう、開発製品を購入してもらおう、興味関心を持ってもらう、議論してもらおうなど）
- 一般的目的: 聞き手主体で伝え方を考えられるようにすることが目的

# ゼミでプレゼンの練習することで

- 聞き手主体にした場合、送り手としてどうやって情報共有していくかを訓練する
- 大学教員一般説明: 専門的知識を深め、説明できるようになる、あるいはアカデミックスキルを身につける (先生はこれよりも、人前で難しい話しを気持ちよく伝えられるようになってほしい)
- 専門的知識を深めるのはもちろんのこと、その場および状況に併せて即興も入れるプレゼンをするための第1歩、そのきっかけ

# 最終英語でやってももらいたいです

- 英語でアウトプットしようとする訓練をすることで、英語の情報をインプットしやすくなるよう脳の思考回路を変えることを目的にしてる (I am trying rewiring your neuro network in your brain) 実は、英語が完璧にアウトプットできるようになることはあんまり期待していない
- プレゼンの訓練の目的は、日本語だろうと、英語だろうと、他の言語でも変わらない whether you hating it or not
- 英語でやってみて、なんかできたよね、と思えられるようにする。海外に行ってくださいとか、グローバル人材にとかそういうもの目指してくださいとか、そんな生ぬるいものは目的としていない。
- I try to provide a training opportunity for a student based on my assessment of current global trends plus future skills that I think younger people need after five years from now....

プレゼン課題に関して、説明・例  
(どういう感じでプレゼンをまとめるか参考)

# プレゼンに関して、やってもらいたいこと

- 動画一覧から一つ選ぶ（または関係していると判断したら二つ以上）
- **やってもらいたいこと1: 動画の内容を理解し、説明する**
- **やってもらいたいこと2:** 動画の内容に関して、その意義（あるいはその逆）、重要性（逆も）、自分達社会との関係（あるいは関係のなさ）など、動画の内容に対して、なぜ他の人が見てみる必要があるのか、なにを考えるべきか、「**など**」加える
- **やってもらいたいこと3:** 動画の内容に関して、思ったことプレゼンに加えてもらいたい
- **思ったこと** = 賛同・反対、得られたこと・得られなかったこと、疑問、感情、知らなかったこと・知ったこと、理解できた部分・できずになんじゃこりやとなった部分など

# プレゼンに関して、やってもらいたいこと

- やってもらいたいこと1: 動画の内容を理解する
- やってもらいたいこと2: 選んだ動画のテーマに関して、専門家になるための作業をする
- 作業1: 全体像を掴むための資料をグループで手分けして探す
- 作業2: テーマについて、何を聞かれても答えられるくらいに、内容をまとめる
- 作業3: 配布資料なども作るかどうか考える

# 継続してください

- 1.授業用サイトは今週更新情報を公開するので、確認する
- 2.個人課題の下準備
- 3.グループ作業用の準備への詳細な指示を文章にして出すので、指示があり次第準備開始、ゼミ内で作業が進められるようにしておく
- 4.英語の自学自習、語学の自学自習
- 5.色々なニュース、ドキュメンタリー、本、雑誌、漫画、ネットで情報を得る。興味がありそうなものは可能な範囲で深掘り